

動物の愛護を考えるシンポジウム～東日本大震災津波で消えた小さな命を想う～

来場者アンケート

I アンケート調査の概要

1 調査日

平成 25 年9月8日(日)

2 調査方法

アンケート用紙記入

3 調査対象

動物の愛護を考えるシンポジウム参加者 350 名

4 回答者数

213 名

5 回答率

61%

II アンケート集計結果

シンポジウム全体に対しては、多くの方から好意的な意見をいただき、動物愛護に対する普及啓発事業として効果的であったと推察された。また、オープニングセレモニーの合唱に対しても多くの好意的なコメントが寄せられたことから、シンポジウムで目的とした、共感を通じた動物愛護の普及啓発に一定の効果があったものと推察された。

一方で、シンポジウムにより多くの参加者に来場してほしかった等、広報不足を指摘する意見もあり、次回以降の開催に当たっては、効果的な広報の方法について検討する必要があると考えられた。

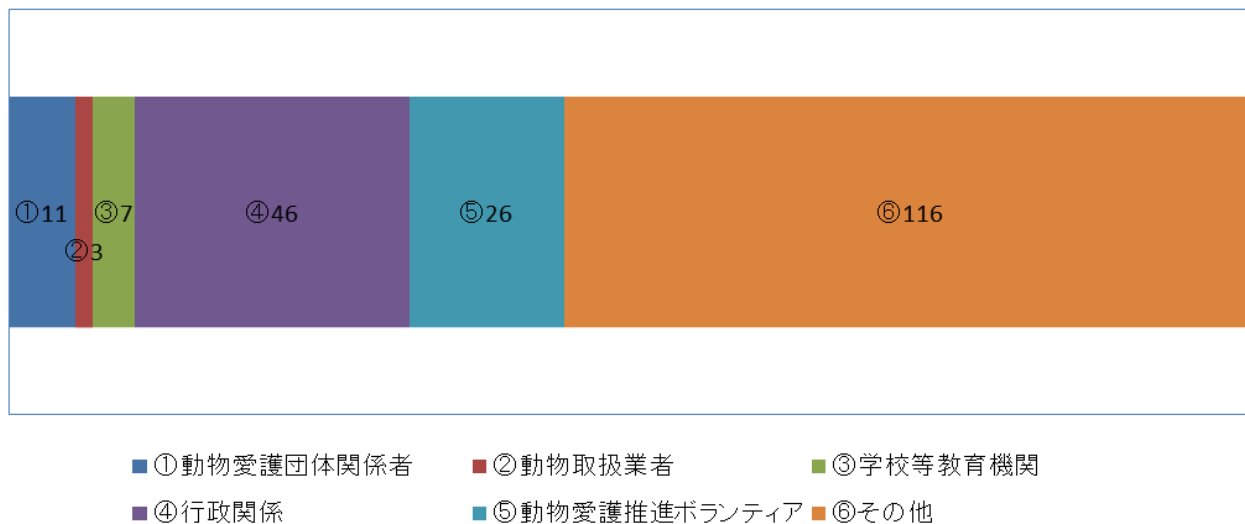
県が今後取り組むべき課題について、「飼主の迷惑行為への指導」、「正しい動物の飼い方に対する普及啓発」、「動物愛護や適正飼養の学校での取り上げ」等があり、不適正な飼養に関する迷惑を感じている方が多いことが推察された。また、シンポジウムではほとんど触れなかった「飼い主のいない猫対策」を求める意見も多く、問題と感じている方が多いことが推察された。

自由記載の意見等については、動物愛護センターの設置を求める意見が複数あったが、その一方で、動物愛護センターの設置という体制のみにこだわらず、実質的に効果のある独自の体制を構築し、動物愛護施策を推進してほしいとの意見もあった。県が行う動物の殺処分の廃止を求める意見があった。

Q1 回答者ご自身について教えてください。

- ① 動物愛護団体関係者 ② 動物取扱業者 ③ 学校等教育機関 ④ 行政関係
⑤ 動物愛護推進ボランティア ⑥ その他()

Q1 回答者の所属

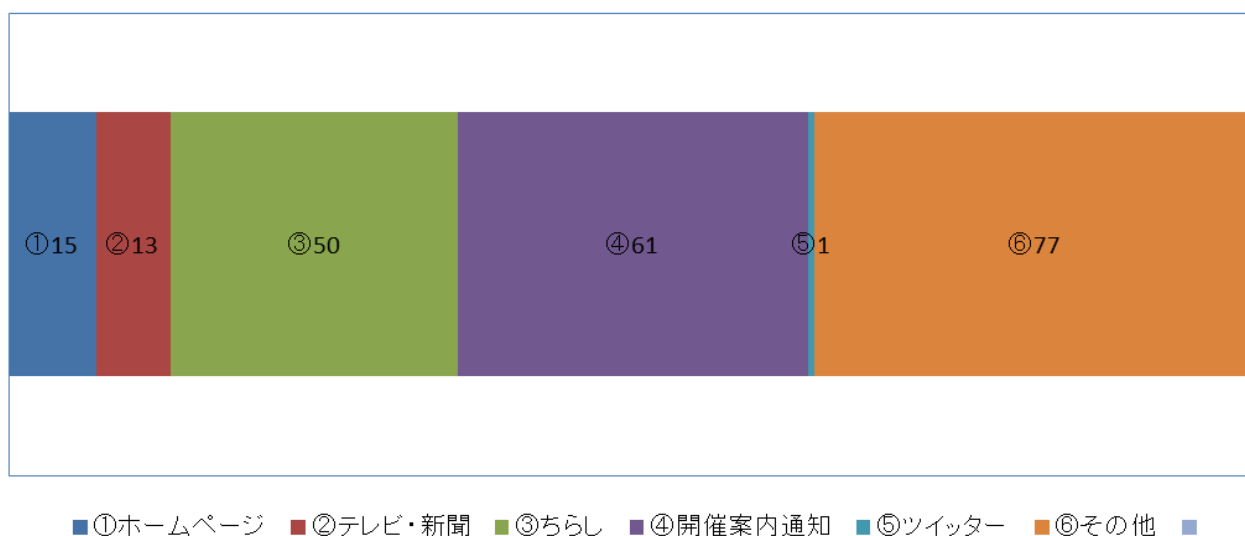


回答者の半数以上が動物愛護団体や行政関係者以外の者であることから、幅広い属性の方に参加いただいたと考えられた。

質問2 本日の開催は、何でお知りになりましたか。

- ① ホームページ ② テレビ・新聞 ③ ちらし ④ 開催案内通知
⑤ ツイッター ⑥ その他()

Q2 開催をどこで知ったか

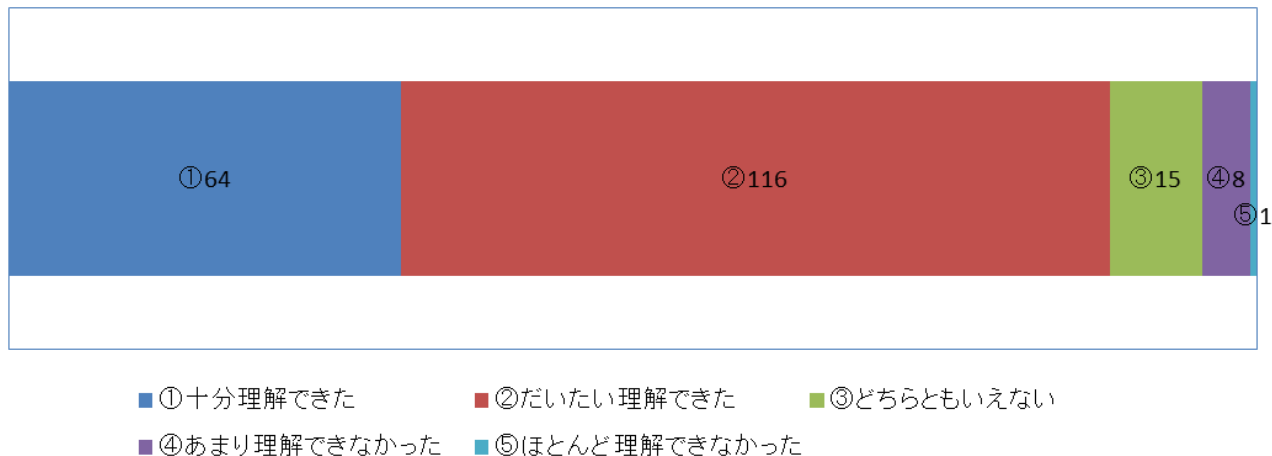


案内通知以外では、「その他」が多く、その内訳は「口コミ」が最も多く、「動物病院」、「震災で消えた小さな命展ブログ」等であった。「ツイッター」により知った方は1名であった。より多くの方にイベントを周知するよう、より積極的な広報を求める意見もあった。

質問3 報告①「岩手県の動物愛護の取組について」の内容はいかがでしたか。

- ① 十分理解できた ② だいたい理解できた ③ どちらともいえない
④ あまり理解できなかった ⑤ ほとんど理解できなかった

Q3 岩手県の動物愛護の取組について(講演1)

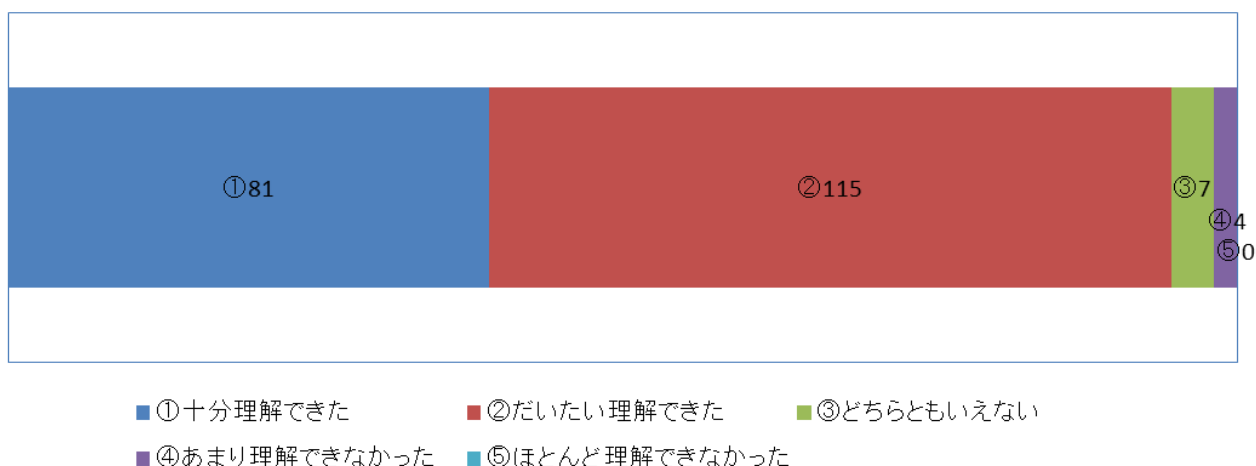


県の動物愛護に対する取組みは、多くの方に理解されていた。(感想等は別紙1参照)

質問4 報告②「東日本大震災における動物救護活動について」の内容は理解できましたか。

- ① 十分理解できた ② だいたい理解できた ③ どちらともいえない
④ あまり理解できなかった ⑤ ほとんど理解できなかった

Q4 東日本大震災における動物救護活動について(講演2)



県獣医師会の動物救護に対する取組みは、多くの方に理解されていた。(感想等は別紙1参照)

質問 5 特別講演「動物たちの悲劇～私たちの意識で変える動物愛護の未来～」について、講師の考え方や意見取組等が理解できましたか。

- ① 十分理解できた ② だいたい理解できた ③どちらともいえない
④ あまり理解できなかった ⑤ ほとんど理解できなかった

Q5 動物たちの悲劇～私たちの意識で変える動物愛護の未来～について

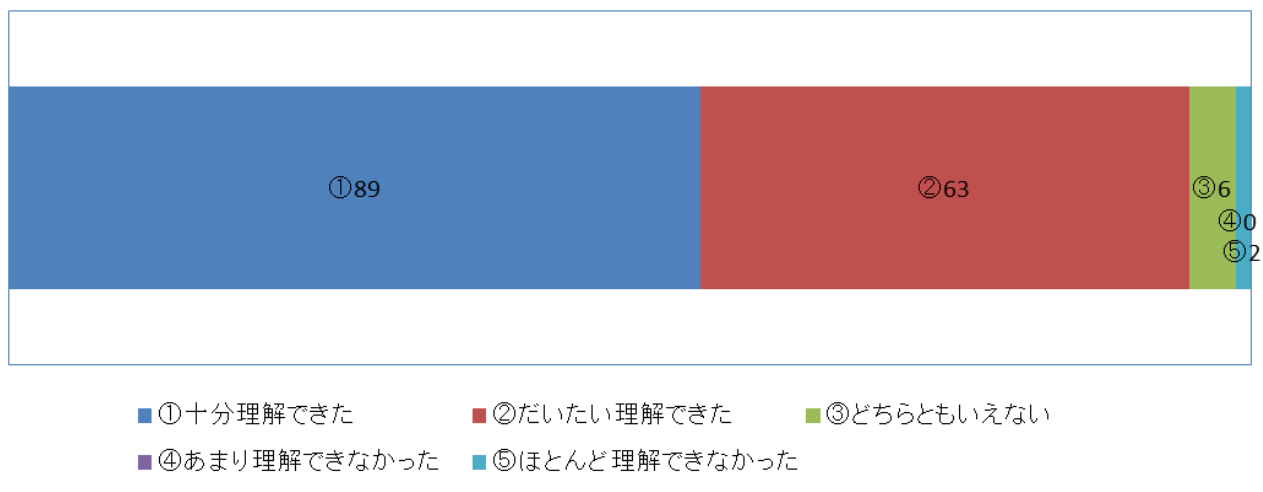


杉本彩さんの動物愛護に係る講演は、多くの方に十分に理解されていた。(感想等は別紙1参照)

質問 6 対談「東日本大震災津波で消えた小さな命を想う」について、対談者の考え方や意見取組等が理解できましたか。

- ① 十分理解できた ② だいたい理解できた ③どちらともいえない
④ あまり理解できなかった ⑤ ほとんど理解できなかった

Q6 東日本大震災津波で消えた小さな命を想うについて(対談)

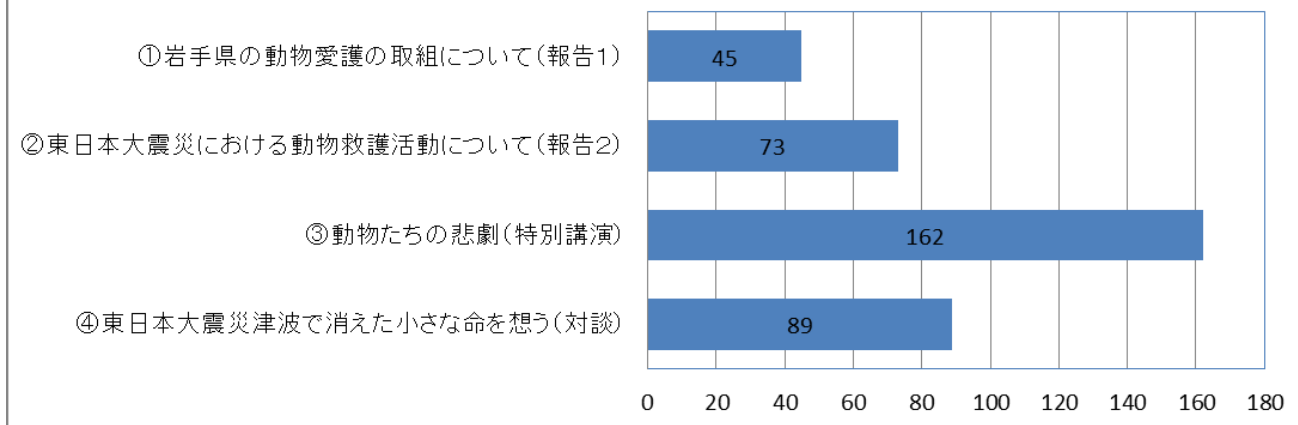


うさ先生の「震災で消えた小さな命展」の取組や、同行避難に関する準備等について、多くの方に理解されていた。

質問7 本日の「シンポジウム」で、特に良かった、ためになった項目をすべて選んでください。

- ① 報告①(県) ② 報告②(獣医師会) ③ 特別講演 ④ 対談

図7 特によかった項目



特に杉本彩さんの講演についての評価が高かったが、全ての構成プログラムに対して、特によかったとの回答があった。

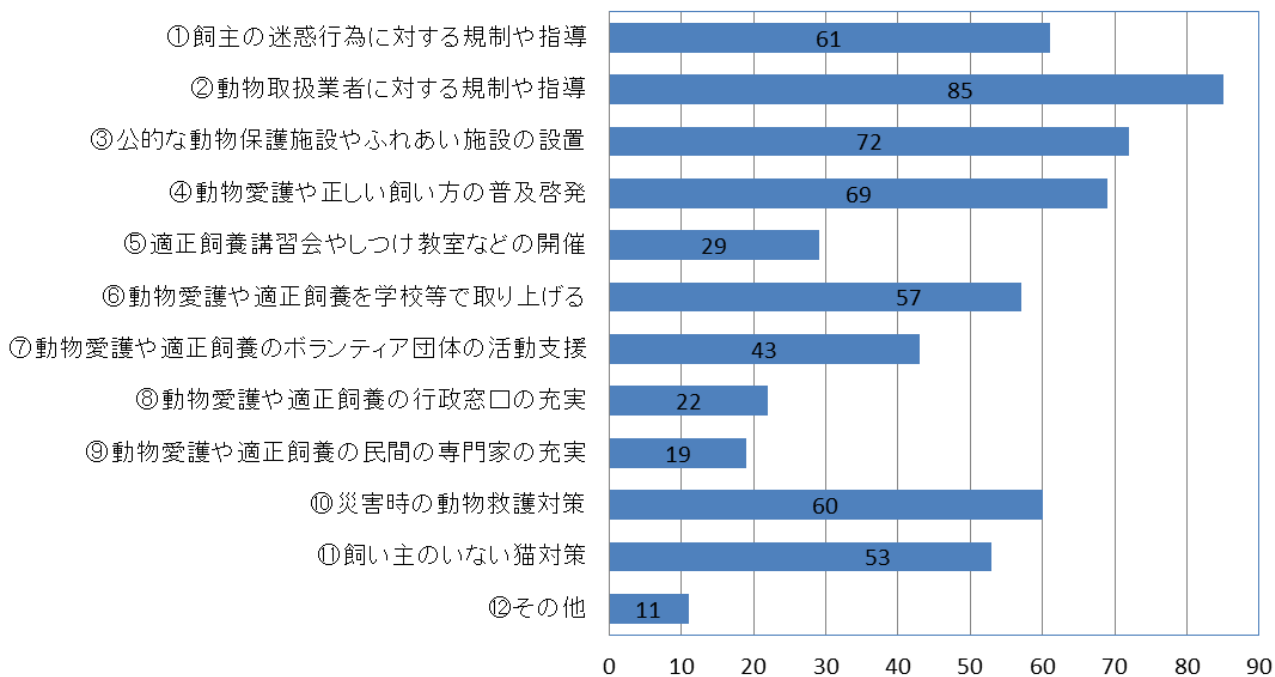
質問8 その他、本日の「シンポジウム」で、感じたこと、考えたことについてお聞かせください。

「共感した」、「感動した」、「勉強になった」、「考えさせられた」というコメントが多かった。オープニングセレモニーとして行った「宮古第一中学校の合唱が良かった」とのコメントも多かった。オープニングセレモニーが会場の雰囲気を感じ動的に演出した効果があったと考えられた。詳細は別紙1のとおり(104件)。

質問9 動物愛護管理に関することについて、県に優先して取り組んでほしいことは何ですか。
(3つまで○を付けてください。)

- ① 飼主の迷惑行為に対する規制や指導
- ② 動物取扱業者に対する規制や指導
- ③ 公的な動物保護施設やふれ合い施設の設置
- ④ 動物の愛護や正しい飼い方の普及啓発
- ⑤ 適正飼養講習会やしつけ教室などの開催
- ⑥ 動物の愛護や適正飼養を学校や社会教育の場で取り上げる
- ⑦ 動物の愛護や適正飼養を進めるボランティア団体の活動支援
- ⑧ 動物の愛護や適正飼養の要望に応じる行政窓口の充実
- ⑨ 動物の愛護や適正飼養の相談に応じる民間の専門家の育成
- ⑩ 災害時の動物救護対策
- ⑪ 飼い主のいない猫対策
- ⑫ その他

Q9 動物愛護管理で優先的に取り組むべき事項



「動物取扱業者に対する規制や指導」を求める意見が多かった。これは、杉本彩さんの講演で、悪質な動物取扱業者が取り上げられたためであると考えられる。

動物の適正飼養については、「飼主の迷惑行為への指導」や「正しい動物の飼い方に対する普及啓発」、「動物愛護や適正飼養の学校での取り上げ」等について優先的に取り組むべきとの意見が多かった。また、シンポジウムではほとんど触れなかった「飼い主のいない猫対策」についても優先的に取り組むべきとの意見が多く、県内で飼い主のいない猫に対して問題を感じている方が多いことが推察された。

一方、「適正飼養講習会の開催」、「動物愛護や適正飼養の行政窓口の充実」、「動物愛護や適正飼養の民間の専門家の充実」等の意見は少なかった。

質問 10 県の動物愛護管理行政や今年度中の改訂が予定されている「岩手県動物愛護管理推進計画」に対する意見等について、ご自由に記載願います。

動物愛護センターの設置を求める意見が複数あったが、その一方で、動物愛護センターの設置という体制のみにこだわらず、実質的に効果のある独自の体制を構築し、動物愛護施策を推進してほしいとの意見もあった。県が行う動物の殺処分の廃止を求める意見があった。詳細は別紙2のとおり(70件)。

別紙1

1	私も普段動物愛護のボランティアに参加していますが、それだけでなく自分のできることをもっと探していきたいと改めて感じました。 また 岩手県の取り組みについても知ることができ 、これからの取り組みによって、今のような状況を改善していけるようがんばってほしいと感じました。
2	「動物の命」が大きなテーマのシンポジウムだったが、 家畜についての考えがどなたのお話からも出てこなかったのが残念 だった。動物の愛護について考える時、人は壁にぶち当たる。『どこに線引きをするのか』それが杉本さんの話から見えたのは良かった。
3	宮城で被災しました。沿岸ではないため津波の被害は受けませんでした。飼犬と共にライフラインがなく先の見えない生活を母、私、犬で過ごしました。講演や獣医師会の報告でおしゃっていた通り、人が生きていくのでさえ一杯一杯の日々の中で動物のことを口に出す事が難しい状況でした。しかし犬が生きて傍らにいてくれるということがどれだけ心の支えとなったことか。 ペットでなく「家族」としての動物であることを再確認 しました。今後同じような地震被害があったとしても、動物救護が人の救護より遅れることは仕方ないことです。被災地の人の負担を減らす意味でも、他の地域団体の方々とのネットワークを普段から作っておくことが重要だと感じました。 そしてそのネットワークに私も加わりたいと思います。杉本綾さんのように芸能界から動物愛護にこんなに深く関わっている方がいると初めて知りました。考え方にすごく共感します。動物愛護にいろんな分野の人が今後も関わることで、未来は明るくなると思います。
4	私自身、東北の出身でないので、震災について知っていることは多くなく、メディアを通じて聞いた程度だった。このシンポジウムで 震災を体験した人々と動物の生々しい事実を知ることができてよかった 。
5	多くの人が協力して人々に生命の大切さを伝えようとしていることがよくわかった。 このような機会がもっと増えればいい と思う。
6	もったいないです。とても大切なシンポジウムだと思います。 もっとしっかり宣伝してたくさんの人に見て聞いてもらえたらよかったのに、 、「知らなかった」と言う方が多かったです。
7	Q3,Q4について、あまりに広いことについて、短時間での説明では、説明の部分だけに終わった感じでした。
8	ペットショップの話が印象に残りました。
9	ペット大国日本、といわれていますが、ペットブームにおける水面下にある闇の部分のお話を具体的に聞かせていただいたので良かったです。ダークの部分も知ることで、改善していかなければならないことも知り、 私にもできること少しでもアクションにおこしていきたい と思います。 今後もこのような機会がありましたら、参加させていただきたいと思います。彩さんから、またアニマルポリスのことなどお聞きしたいです。 対談中のシャッターやフラッシュがとても気になりました。
10	動物の命も大切な命であることを 、深く思いました。終生責任をもって飼うこと。 不幸な犬、猫がいなくなることを切に願います。 今日の皆様のお話良かったです。 参加して良かったです。ありがとうございました
11	杉本彩さんの講話はとても素晴しかったです。 心が痛む時もありましたが、あれが現実なのですね。 私達が今飼っているペットを最後まで見守っていけば、今日からでも殺処分が0になるのだなあ と強く感じました。
12	杉本さん、うささんの志の高さに感動 しました。 ありがとうございました。感心がない人」に動物がいる社会を受け入れてもらうには、 動物を飼う側のモラル向上が不可欠 だと思う。

13	動物と人間が共生していくという目標のためには、動物が好きな人を増やすのではなく、 動物を適正に飼養できる人を増やす必要がある 。「動物が好きな人」がけでなく「動物が苦手な人」「関心がない人」に動物がいる社会を受け入れてもらうには、動物を飼う側のモラル向上が不可欠だと思う。うささんの「 かけてよい迷惑」「かけてダメな迷惑」 はとても 重要な言葉 だと思いました。
14	うささんの「 迷惑かけていいんだ 」と言う言葉は目からうろこでした。正しい迷惑のかけ方ができる勇気が必要ですね、岩手県民は人に迷惑かけてはいけないという県民性が強いと思いますが、その裏ではお互い様と笑いあえるような強さをきつと持っているはずです。そこを啓発してほしいです。最後の朗読が良かったです。
15	宮古一中の合唱が良かった
16	いまだに言えない悲しみを改めて感じました。 コーラス・対談もとてもよかったです。
17	動物愛護推進ボランティアが主催となり、ボランティアの利用有償で活動をしてもらうことが前提、持続可能を踏まえて中途半端な活動なら止める。 「動物達の悲劇」彩さんの講演で犬猫のブリーダーが供給者不法的潜在、となればトレーナーの確立が必要で食品の流通と同様、行政が監視すべきと感じました。
18	災害時に動物を連れて行くか連れていかなかは今後も話し合いは必要。特に一緒に逃げた後に食事をどうあたえるか、人間と別にして生きる環境を作るため、理解が得られるよう、啓発や教育にも力を入れるべき
19	Q3 文字ばかりのスライドでつまらなかった。具体的な話でなくつまらなかった。 Q4 話が長すぎる。もっと的を絞ってほしい。動物が外にいるのはわかったが、教育活動についてはわからない。 中学生の歌が良かった。
20	動物を飼っているものとして、 県がこれだけ動物愛護について考えていることを初めて知りました 。彩さんの講演がとても良かった。
21	人と動物と自然共存 ブリーダーの免許制度 アニマルポリス
22	彩さんのものすごいエネルギーを感じました。 岩手県でも講話のようになって欲しいものです。
23	動物を飼ってはいませんが、 いい企画、シンポジウムでした。
24	杉本さんの講演内容、全国テレビで取り扱うべきです。より多くの人に知って欲しいです。
25	シンポジウムの内容の最後のうささんの話が良かった。 緊急時に家族も一員であるから一緒に逃げて良い 。その一言は良かった。 避難先での共生できるルール作りはこれからだが勉強になった。
26	実際に熱心に活動されている杉本さん、うささん、多田会長のお話が心に強く響きました。 知らないことが多い事にも気づきました。 動物と共生するすばらしい社会づくりのために少しでもこれから参加できれば と思います。 すばらしいシンポジウムでした。
27	ペット・動物を購入する時はかわいいだけで決める。購入してから色々と費用がかかる。 水などを具体的に毎日、又はどれくらい費用がかかるか売る側に責任を持たせることを制度化する。
28	シンポジウムはもっと多くの方に聞いて欲しい 。DVD にして各方面、学校でも見て聞いてほしいと思うのですが。
29	杉本氏の講演がとてもわかりやすかった。殺処分される動物、そしてペット業界の真実などわかりやすく、共感できました。
30	本日の開催をもっと多くの方々に知ってほしかった。杉本さんの講演ありがとうございます。 思ってたより、たいへんなことを知ることができました。知らなかったこと、見なかったことたくさん思うことがあります。 是非今後役立てて行きたい と思います。

31	<p>本日のシンポジウムは「動物」がペットの犬猫に限定されていましたが、野生の動物は、どのように位置づけられているかわかりませんでした。</p> <p>又、保健所に収容される犬猫が人間の身勝手さの犠牲になっている現実には心が痛くなりました。我が家には18才と10才の老猫がいます。</p> <p>でも最後まで看取るつもりです。今までもそうしてきました。限りある寿命を持っているのは、人も動物も同じなので、命の大切さを再教育する必要があります。それは子供達よりもむしろ親世代に必要かもしれません。</p> <p>ペット業者を取り締まってほしいです。動物保護が子供達の道徳教育に役立つということは、とても共感できました。良い講演だったと思います。ありがとうございました。</p>
32	<p>県や獣医師会が熱意を持って、動物愛護に取り組んでいることがよく分かりました。新しい施策が円滑に実施できるよう期待しています。</p>
33	<p>動物愛護についての意識が高揚した。</p>
34	<p>もっと飼い主の責任、しつけ等について強く訴えてよいのではないかと。特別講演は、ペット販売の現実を取り上げている点は評価される</p>
35	<p>動物の命はとても大事だということを改めて実感させられました。</p>
36	<p>言葉を発せない動物への虐待、殺処分、過剰な繁殖業者など、絶対に反対で許せないことです。</p>
37	<p>動物も人と同じ命の重さであること。</p>
38	<p>とても素晴らしいシンポジウムでした。もっとたくさんの人に参加してほしい。</p>
39	<p>従前は「安楽死」を一頭一頭の犬や猫に施し、せめて苦しまずに殺処分をと思っておりましたが、今日の講演を聞いて方法論ではなく「命を断つ」ことがなくなるようにしなければならぬと強く感じました。</p>
40	<p>地元岩手に戻ってきて、動物愛護に力を入れていることを初めて知り、失礼な言い方ですが、普通のおじ様が普通に動物愛護について熱く語っている姿にもすごく感動し、嬉しくてたまりません。</p>
41	<p>京都と同じような取り組みが岩手でも行われるよう私に出来る事は頑張りたいので、そのようなことが始まる時は大々的な公告等をお知らせいただきたい。</p>
42	<p>大変感動いたしました。素晴らしい冊子ありがとうございました。</p>
43	<p>命の大切さ</p>
44	<p>大変有意義なシンポジウムでした。今後様々な媒体で本内容を伝えるべきだと思います。細々でもずっと長い活動になる事を願っています。</p>
45	<p>せっかくのシンポジウムに来場者が少ない事が残念でした。告知が足りないと思いました。宮古一中の合唱に心を打たれました。とても良かったです。</p> <p>講演で語られた保健所での処分、繁殖業者崩壊の写真は、実態を知らない人にとっても意義のあるものだと思います。知る事からはじまりますから、今回のシンポジウムを開催してくださってありがとうございました。</p>
46	<p>杉本さんの考え方に感心しました。もっと広く宣伝したらみなさんがいらしたのではないのでしょうか。残念です。</p>
47	<p>県の報告、中学生にもわかるようにやさしい言葉をお願いします。</p> <p>杉本さんの猫、犬の写真みたいです。杉本さんしかできない話を聞きたいです。芸能人としての立場の動物のかかわり、なぜ愛護運動をしているのか、体験談などを聞きたいです。杉本さん自身の話を次回お聞きしたいです。お話がまじめで残念でした。</p>
48	<p>共生・共感の和・大切な命→動物愛護。迷惑かけ合う=助け合う</p>
49	<p>自分に何が出来るか。今一度考えたい。</p> <p>現在の社会において「動物の存在意義」を、動物を飼っていない人、嫌いな人にも知ってもらえることが大切だと感じました。</p>
50	<p>杉本さんのお話大変心に残る、素晴らしい内容でした。</p>
51	<p>杉本さんが芸能活動のほかに、動物愛護について素晴らしい活動を長く続けていただいている事を知ることができてよかった。</p> <p>京都の愛護センターのようなところが岩手県でも設置されればよいと思う。動物を売るだけ買うだけで</p>

	はなく、終生飼養できるシステムができればいいと思います。
52	人と動物、自然の共生。杉本さんの講演はとても素晴らしいでした。うわべだけでなく、真剣に動物、人、自然のことを考えていることが伝わってきました。 自分自身も考えるよい機会になりました。
53	告知がたりない (ペットショップや動物病院等)
54	動物には感情も心もあるということはまだ知らない方に知って欲しい。 そして言葉の通じない感情や心を創造することが大事だと改めて感じた。子供も大人も創造力をもたないと。特に大人ですね。
55	亡くなった子達、亡くしてしまった飼い主さんの心身の痛みを思い胸が苦しくなりました。それと同時に自分にできることからアクションを起こさないと、と思いました。 素晴らしいシンポジウムだった と思います。 これを県が一緒になって開催したことを本当にうれしく思い、自分の県を誇りに思います。
56	盛岡在住ですが、同行避難をしたらどうなるかを近所の避難所に行って体験してみました。(ダックスがゲージに入っていました)もっと動物にやさしい避難所になってほしいと思いました。
57	杉本さんの朗読はとても良かった。
58	知らなかったことばかりで勉強になりました。朗読や絵のスライドでは、涙が止まりませんでした。動物や自然と共生できる世の中になりますように、悲しい苦しい思いをする動物や飼い主が少しでも減りますように願わずにはられません。 不幸な動物が減るように、私も何か始められたらと思います。
59	県をあげてのシンポジウム、大変嬉しく思います。 私が住む久慈市は、動物の命をあまり重く見ていない人が多いと思います。繋がれっ放しの犬や泥だらけの場所にいたり、避妊去勢手術をせず増える猫、生きてる猫を捨てる人、、、とても悲しく思います。私にできることはどんな事でもします。だからどうか久慈市にもっと行政が介入して動物の命を守ってください。本日は 大変素晴らしいシンポジウムでした。 ありがとうございました。
60	私の家で飼っている猫も震災の日を境にいなくなってしまうました。たぶん亡くなったのだと思います。亡くってしまう犬や猫を減らしてほしい。保健所から2匹の猫を引取ったので、死なせないように努力したい。販売業者はびっくり。
61	悪質な業者について一般の人にも知るべき。またそこで悪質であると認識できる感覚を大切にしてほしい。避難の話、動物の話を知った人が強い愛情を持って側にいてあげたいと同行することをえらんでほしい。また一緒にいることがまちがいではないと肯定できる社会にしたいと思う。
62	一番良かったのは、 宮古第一中学校の合唱でした。
63	杉本さんの講演とてもとても素晴らしく、心うたれました。スライド写真の時は涙が止まりませんでした。実は我が家に今いるわんちゃんも2日後に処分されるところを私が連れて帰ってきました。虐待され、背中に大きな火傷のあとがあり、手足鼻にも、何かでたたかれた傷あとが痛々しく、毛も汚い姿でした。毎日音に敏感でビクビクしてかわいそうでした。我が家に来て1年3ヵ月になり、少しずつ、家族になれてきてとても最高にかわいいです。大事に大事に育てていきたいです。だって私達の家族ですもの。杉本さん本当にありがとうございました。
64	素晴らしい講演をありがとうございました。うちにも保護猫が1頭いますので、うちにきて幸せだったと最後に思ってもらえるよう、精一杯かわいがろうと改めて思いました。私も動物業界にいる者として、動物のためにできることがあれば何でもしていきたいと思います。最終的には、全体販売が日本で禁止されることを願います。
65	正直こんなに泣かされるとは思っていませんでした。 「排除するのではなく歩みよること」これが山積する動物愛護問題の解決を図るための根本になる考え方 だと思います。
66	一日も早く動物と人間が一緒に気兼ねせず、時が流れ生きているうちに見届けたいです。子どもたちの未来やさしい人間になってほしい。
67	感動のひとことです。同じ思いの人達と同じ思いを共感できてとてもよかったです。

68	人と動物の命の大切さに差があってはならないということを改めて感じました。日本も早く動物に対する意識が高まって欲しいです。
69	宮古第一中学校の皆さんの合唱が良かった。最後の朗読が良かった。
70	考えさせられることが多かったです。そしてとても感動しました。
71	命は平等です。
72	全ての命の尊さ
73	動物愛護を考えている人達だけでなく、考えていない人達に少しでも考えてもらえるシンポジウムであって欲しいと強く思いました。
74	全てすばらしく参考になり、来てよかったですと思います。今後の啓発活動に向けてためになりました。このような企画をまたよろしくお願いします。
75	改めて動物の命の大切さを考える機会となりました。動物も家族の一員として、災害時でも保護することを忘れてはいけなと思いました。
76	学校でもこのようなことについて考えたい
77	自分のできる範囲で愛護について何かすることの大切さを知りました。被災地や普通のところでも動物愛護についてやるべきことがありますよね。彩さん細くてきれいでした。ドイツのように生体販売を禁止し、法律化するべきです。
78	杉本さんの講演が本当に素晴しかったです。杉本さんの考え方にとても賛同します。機会がありましたら、また拝聴します。
79	これからも自分でできることを少しずつ動いていこうと思います。
80	人と人の絆を感じた。この絆が今後の本県の動物愛護活動につながっていけばいいと思います
81	自己中心的な飼い主(ふんの後始末をしない、捨て犬等)利益しか考えない業者、そもそも教育、家庭環境に問題があるのではないか。ひいては対人関係、犯罪、いじめ、虐待等の問題にも関連してくるのでは？対談は対話になっていなかった。
82	人々の心にひびく濃い内容のシンポジウムだったと思います。またこのような機会を設けてほしいたくさんの人に知ってほしい。
83	今は動物を飼っていませんが、昔飼っていた犬の死と向き合うことがあったため気持ちはわかるつもりです。杉本さんの講演時の写真に写っている動物と人間の子がだぶりました。やはり動物も人間も命がある、同じだと思いました。
84	宮古第一中の皆さんの歌声はとてもすばらしかった。特別講演で命の大切さ、動物愛護について考えることができました。
85	自分は子供の頃からペットと一緒に生活することが夢でした。今、その夢をかなえて幸せな生活をしています。(いのちの会より犬1頭、猫1頭)ペット業のウラ側で辛い生活をしている犬、猫がいる事を改めて知りました。 以前はボランティア(動物愛護団体)をしていたので(今は家のことで活動できませんが)ペットが育てられる状況は少なからず知っていました。 今後、家の状況が良くなったなら少なからず保護活動の手伝いをしたいと改めて思いました。岩手県の作品集にも感動しました。県の施設に設置などもっとPRした方がいいと思います。
86	「震災で消えたい小さな命展」の取り組みは、動物愛護という観点だけでなくペットをなくした方々の心のケアにも資するものであり被災者支援そのものです。こういった取り組みを自発的に継続的にやっていただいていることは非常にありがたいことであり県は今回のシンポジウムだけで終わらせることなく今後も連携を続けできる支援を行うべきだと思います。 ペットの同行非難というのは考えたことがありませんでした。自治会で防災訓練する時に取り入れることを県から呼びかけてはどうでしょう。(やり方のマニュアルなど示してもらえれば取り組みやすいです)
87	杉本さん⇒テーマと話の内容が合致していた。素直な気持ちが表れていた。このような気持ちが行政を動かすと思う。杉本さん、うささんのはなしを聞いて動物を愛すること飼うことについて気づかなかった部分を改めて認識した。杉本さんの朗読うまくないけど感動した。構成全体はすばらしかった。
88	動物でも人間と同様に感情がある。身近な生物である動物にも小さな命がある。動物も身近な人をち

	やんと認識している。
89	動物も家族。家族を増やす(ペットを飼う)ことにもしっかり責任をもつことが大切だと思いました。
90	感動しました。 ありがとうございました。
91	まず自分に何ができるのか？そこから考えてみようと思いました。
92	印象に残った事 ①「災害時はペットと同行非難せよ」 ②杉本彩氏のお話から「動物を救うということは人の心を救うことと同じ」 ③宮古1 中生のコーラスすばらしかった(涙が出るくらい、心があらわれた) ④岩手が昔から動物と共存していた土地であったという事(平泉金色堂の頼文)
93	命を大切にしたい と思いました。
94	被災者の中にペットの存在があったということを気付かされた。心のさけびを動物達は伝えることが出来ない為、このようなシンポジウムが開催される意義があると思う。津波の映像だけでなく失われた命について語り合うことの大切さにあらためて気付かされた。
95	今日このシンポジウムに来てとてもよかったですと思っています。大切な動物の命が軽視されている現実を少しですが知ることができました。 自分に出来る事は何か考えさせられました。 まずは今、飼っている柴犬を大切に最後まで一緒に過ごすことと改めて感じています。杉本さんの活動にも応援していきたいです。大ファンになりました。写真展も見て涙が流れました。
96	もっともっと広く開催して下さい。 とてもすばらしかったです。
97	日本は遅れています。行政が気づいてくれること期待します。また、来て下さい。開催して下さい。
98	命に対する尊さ、人間と動物の絆の大切さがすごく感じることができました。そしてこの震災に会った方と動物達が恐くて大変だった事、身にしみました。動物に対する愛情がますますわいてきました。ありがとうございました。
99	大変良かったと思います。 講師の方の熱心 で良かったです。
100	杉本さんのお話はとてもとても素晴らしかったです。力をいただきました。岩手県にも是非、京都に続いてアニマルポリスを誕生させてください。 保健所からガス室を取り除いて下さい。 これからも動物たちの声になっていこうと思います。
101	とても良いシンポジウムでした。 けれどこれは愛護関係者より一般の飼い主対象に行ってほしい。安易に保健所に持ち込む飼い主を教育しなければならないと思います。アニマルポリスを岩手県にも設置してほしいと願います。盛岡市広報にシンポジウムをのせてほしい。
102	このような運動や愛護の心が県民全体に伝わればよいと思うのですが、なかなか難しいと思います。 このようなことに関心を訴える県民を誘導していくようにしてほしい と思います。みえるとともに生きていくには ペットとその飼い主のマナーとしつけ必要 だと思います。杉本さんの話、感動しました。ありがとうございました。
103	素晴らしい人間も動物も同じ心と感情を持つ生物、共存共栄の時代が全ての国に来て安心で安らかな未来が広がってほしい。最後の人との話と泣いてしまった。
104	学校等、教育の場でもこのような時間が必要 だと思いました。知っているようで知らない悲しい現実を知るきっかけとなりましたので今後、家族でもっと自分達には何ができるのかを話しあってみたいと思いました。

1	動物愛護推進ボランティア内に、地域猫推進ボランティアを設けること。 東京都では、猫屋敷の主への不妊去勢の説得に、地域猫推進ボランティア(一般の方)が活躍しているそうです。行政が直接説得するより効果があるのではないかと思います。
2	将来動物との愛護に関係する立場になるので、意識して県の取り組みを見守っていきたい。
3	多くの人々を巻き込んで、より多くの生命を救う事のできるものにして欲しい。 またこのような対策が岩手だけでなく全国に広まるのが大切だと思う。
4	ぜひ人と動物が今まで以上に絆が深まる社会になります、心から願っています。 なかなか動物に関する情報を得る場所がありませんが、改訂後のことやいろいろな情報を動物病院に設けていただくと嬉しいです。(予防接種を受けに行ったりと行く機会が多いので)
5	ブリーダーやペットショップの適正な飼育などきちんと調べ、条例を作って取り締まる などしてほしい
6	説明の様なことが本当に実行できれば動物にとってどんなに住みよい地域になることでしょう。実現できるように頑張ってください。
7	終生飼育の徹底
8	今日からは、犬、猫といった人間の生活に密着した動物についてだったが、人間は様々な命に関わって生きている。命を消費して生きているといってもよいと思う。人間が自分たちの生活の中で、命に思いをめぐらせる機会が教育の現場などであればいいのでは。 犬猫は家族同然、家族だという家庭も多いと思うが人間ではない。公共の場などでは人と動物の区別も必要だ。「 適正飼養 」が何か広く認識されてほしい。 行政が、命を大切にする枠組み作りをもっと積極的に行える環境が必要なのは(海外でも導入されている犬税など)
9	動物管理センターの建設については、度々県への嘆願等も出しているようですが、当今の財政事情等からも実現は困難との県のお考えかと思えます。そうであれば 動管センターを持たない県という特性と できるような、 独自の対応、体制を確立 されてはいかがでしょうか。他県のなりをみてもセンターさえできればいいというものでもないようです。 譲渡対象動物については、センターがなくても民間ボランティアの活用などで何かできることはあると思います。(例えば一時あずかりなど) お金も人もなくても、 知恵を絞れば収容動物のよりよい管理はできるはず。 殺処分方法の検証するべき、岩手は炭酸ガスの処分と思いますが、 窒息死にならないための方法をきちんととらえているのか確認してほしい。
10	国の法律改正に合わせて50日未満の販売を強く規制、監視をしっかりとできるよう盛り込むこと。 講習会・しつけ教室の普及を図ること。
11	猫の糞害に共感している。 猫対策の充実を望みます。
12	平均寿命は無意味(指標からはずすべき) 開業獣医師、市町村役場による犬の飼育実態調査をすべき(狂犬病予防注射接種率の向上につながる)
13	例えば猫など保護した場合、病院にかかるお金等普通にかかっしまえば、保護しようと思っても考えてしまうかもしれません。家には2匹の猫がいますが、どちらも怪我をしたところを保護し、結構お金がかかりました。もしお金の心配がなければ、何匹でも保護したいと思います。大事な命、助けてあげたい気持ちは大きいです・もっと安く病院に行けたらと思います。
14	動物と人間との共生から考え、食肉を食べる人間とのジレンマをどう解消していくか今後の子供達へ伝えていく意味を意識する必要があると思う。 今回は小動物だけで、家畜である牛豚鳥等が含まれていないことが不思議に感じた。「動物の愛護」の意図に反するのように感じた。 動物の愛護と人間の愛護の対比関係、動物が先か人間が先か優先順位が問われ、今回の津波で動物が後手に回った現況も生命の比較問題からだと思う。 手話による動物と人間のコミュニケーションを推進することで今後の意志疎通手段に必須と感じました。 《言葉のない動物に対して手話を活用》ポティランゲージ

15	岩手に 動物愛護センターの設置
16	犬を飼っています。最近犬のボケがはじまり、世話が大変になってきました。病院にも相談していますが、 公的な相談窓口を設けてほしい です。
17	マックスバリュにて色付きレシートが寄付の対象になる窓口がありますが、バリュ矢巾店から動物愛護団体の名がなくなりました。どうしてですか？何か難しいことでもあったのでしょうか。小さい事ですが、ただ捨ててしまうレシートが何かの役に立てるのであれば協力したいと思います。
18	行政により処分されてしまう動物が少し減るような体制づくり をお願いします。
19	岩手にも 動物愛護センター ができれば良いと強く思いました。
20	様々な模索が必要と思うが着実に前進してほしい。
21	飼い主の責任がいかに大きいかを広報する必要がある。共存というが、野生動物に
22	動物取扱業者の移動販売について、規制を強化してほしい 。動物の販売後に病気が見つかった場合トラブルの原因になる
23	動物の殺処分につて、 岩手県でもガスの殺処分がなくなってほしい 。安楽死になるようにしてほしい。いずれは殺処分がゼロになるようにしてほしい。飼い主のいないかわいそうなノラ猫がたくさんいます。そういう かわいそうなノラ猫がいない県 になってほしい。今現在いるノラ猫は地域の人と共生して、去勢手術をして、これ以上増えないようになればよいと思う。 県・市営住宅でもペットを飼えるようになればいい。
24	飼い主のいないかわいそうなノラ猫がたくさんいます。そういう かわいそうなノラ猫がいない県 になってほしい。今現在いるノラ猫は地域の人と共生して、去勢手術をして、これ以上増えないようになればよいと思う。 県・市営住宅でもペットを飼えるようになればいい。
25	責任をきちんととれる飼い主。飼うこと <small>の自由</small> =責任が取れることを忘れない管理の仕方等をしっかり考えて改訂してほしい
26	ブリーダー等の営利目的の繁殖などの取り締まりなど含めてほしい。 できるだけ早く殺処分がなくなるような施設の設置も お願いしたい。
27	一個人でできることは限りがあります。公の力に期待したいです。
28	動物取扱業者の許可制度について、立入監査等をし、安易な繁殖を阻止する。殺処分の持ちこみについて有料化検討。
29	保健所のガス室の撤去を強く求めます 。 アニマルポリスを作って欲しい。 災害時のペットと一緒に避難できる場所の確立、ペット用支援物資などの情報を得る方法の確立
30	一部の市民が分かるのではなく、大々的な広告、ニュース等でお知らせいただきたい
31	具体的に(何のために、何をどうするか)お話いただくと助かります。
32	特別講演、まじめで悲しいはなしばかり。 もっと楽しい会にならないか 。ペットには癒されているし、もっと楽しい笑いのあるシンポジウムでもいいのでは？人は笑うと元気になり幸せな気持ちになります。東京オリンピックで明るい未来ニュースがあったので岩手も元気になるといいです。
33	シンポジウムを開催していただき感謝しています。 今後ともよろしくお願いします。
34	一つの大切な命=動物愛護 命を考える大切さが人間の礎となる・・・なるほど 同時に進行させる。杉本さんとうささんの話は「人間」を考える。人の心を考える。
35	たくさんの動物たちの命。ただただ涙でした。
36	動物を安易に購入し、安易に育てたり捨てたりする人がいます。動物を飼う前 <small>にあるいは</small> 、飼ったらすぐに飼い主に責任や飼い方を知ってもらふべきです。 普及啓発に力を注ぐことを希望 します。 出口をせき止めることより、 蛇口を閉めることに重きをおいてください 。
37	ペット用の避難袋とはどのようなものか？ 動物と一緒に避難といっても、高齢者の方の場合や体の不自由な方の場合どのような対策をとるのか？ ペットと一緒に逃げよとするため、自分の命までも犠牲になってしまうのではないか 。

	一緒に逃げるための避難の方法を考えることが大切。実体験がなくても人の心に寄り添う気持ちが大切。
38	生体販売を無くせるような取り組みをしてもらいたい。 ドイツベルリンのシェルターのような犬の施設をぜひ作ってほしい。 そこで子供達が動物に触れ、感情や心があるのを知って欲しい。 彩さんの言っていたアニマルポリスをぜひ岩手からも。動物と人間が共生できる岩手になってほしい体温を感じる時が増えるとよいですね。
39	県・市レベルでの保護シェルターの必要性。 保健所の現状の情報公開
40	ブリーダーの問題や適切な養育について 殺処分(殺処分に至までのあり方)など、改善若しくは廃止していただきたいこと等たくさんありますが、人の命と同等の命を軽んじる行為に対しては「物」としてではなく、「命」をうばうことに罰則をもうけて厳しく対応する。きちんとした法則(条例)を作って欲しい。お願いします。
41	避難先でのペット達の状態、ショックをうけました。 災害広域訓練の役割担当表が地区に回ってきた時、ペット達の避難先の検討は、相変わらずされていないと思いました。飼い主にお任せなんですね。こういった広域訓練等に参加するところからはじめないと、動物愛護は進んでいかないと思いました。
42	青森県にあるような施設を希望 します。
43	最近とても気になっていたアニマルポリスの話を杉本さんから話されていたこと、自分自身を話の中に組み込んでいました。 杉本さんの、感じて、活動していることがとても共感できることです。ひとりひとりの小さな力が大きなことにつながると思います。譲渡会も大切です。 としても連携を持って色々な活動を考え行動できれば幸いです。 動物に救われる心を大切に。生きるという意味深さを、人も動物も同じだと思ふ。
44	動物愛護のイベント、競技的なことを行ってみては？食べ物系のイベントが多く腹はふくれても、心はふくれないイベントが多い。
45	岩手には動物愛護センターといわれるような拠点施設がありません。岩手には動物との特別な関係を大事にしてきた風土があるとのことでしたが、 ぜひそのシンボルともなるようなものを建設してください。 建物が大事という意味ではなく、そこから動物の愛護先進県としての取り組み(杉本さんのお話にあった動物ポリスもそのひとつ)を発信してほしいと強く願います。
46	日本一、世界一動物にやさしい人と動物が共生できる県をめざして頑張ってください。 目標を明確にして夢を持って頑張ってください。 岩手県の方々の熱心な取り組みに期待しています。
47	とにかく殺処分を廃止してください。 適切な飼養をされていない、犬猫その他の動物達のために行政で各家庭を巡回しきびしい指導をしてください。 県がペットショップを取り締まってください。 犬も猫も飼養するときには完全登録してください。 早急にアニマルポリスを作ってください。
48	取締りを強くするより、広く動物との適切な関係を持てるように、教育や実践をふやすことで呼掛けたい。
49	現行の成果と改訂による達成目標を明確にしてほしい
50	災害時は人とペットの同行避難をぜひ管理法に入れてください。
51	Q9の②生態展示販売業者、ショップ販売の厳しい規制をお願いしたい。
52	動物取扱業者に対する規制を厳しくすること。 生体販売に対する規制をもっともっと厳しくしていただきたい。生後8週までは、母体から離さない、展示しない。
53	一部の人だけでなく、もっと沢山の人が動物との共生に関心を持っていただけるような、裾野を広げる啓発活動をお願いします。

54	この推進計画はどこで見れるんですか？ 今度中の改訂が予定されていたことも知りませんでした。
55	知らないことも多かったので、県の取り組みを積極的に伝えていただきたいし、保健所の処分される動物達の安楽死が苦しんで死んでいく状況を聞き麻酔で死ぬるように募金などでもいいので進めてほしいと思いました。
56	宮古市に住んでいるものです。最近生後まもない子猫が捨てられ、保護している人や動物病院への保護が多いと聞きます。私も体験しています。 噂によると、子猫を1匹3千円で引取り、その後河川敷に捨てているペット業者がいると言います。そのことが実際行われているとしたら犯罪なのではないでしょうか。 捨猫・犬は必ず人間が関わっているはずですので、杉本さんの言うように「アニマルポリス」のような団体や組織ができると良いです。不妊手術の取り組みを徹底してください。
57	計画内容を知らないで意見等するのが恐縮ですが、捨てる命に対して軽視されすぎているというのは、愛護を考えている方々の共通する認識であると思います。軽視がなくなるよう啓発する事を強く強化すると同時に、命を救う場(譲渡会だけでなく、老人ホームや教育現場等と連携)をもっと身近に増やせたらなと思います。 動物と共存が上手な県、県民でありたいです。
58	予算の件ですが、なんとか増額をお願いします。広報を見て申し込んでも、断られ大変残念でした。(盛岡市の地域猫事業?)
59	ペットと同居できる賃貸アパート、マンションを増やしてほしいです。引越して飼えなくなった人もいます。不動産業に働きかけることはできないでしょうか。
60	いろいろな条件に左右されない 公的な保護施設の設置 をお願いします。 無料のしつけ教室・相談室
61	保健所の職員が譲渡に関して日々苦勞されていることなどを多くの人に伝えてほしい。 保健所は動物を処分する場が主な仕事ではないということ。 仮設団地に入っている方々が、災害復興住宅に動物とともに入居できるように県で支援してほしい。沿岸の市町村によって差があるときいている。 子どもの時から動物愛護の教育に学校を通して力を入れてほしい。 命の大切さ、優しさ、思いやりにつながっていくと思う。
62	私自身は動物があまり好きではなくペットも飼っていません。(かつて飼っていたことはあります) ただペットを家族同様思っている人々の気持ちもわかりますので、共に暮らせる社会をつくっていく必要があるというのは理解できます。飼われている動物が地域住民に迷惑をかけないようにしてくれれば(フンを放置しない、ほえない、飛びついてきたりかんだりしない)暖かい目で見ることができます。なのでQ9に書いたように 「飼い主に正しい飼い方を身につけてもらうこと」と「動物の愛護に関する生涯教育」に重点的に取り組んでほしい です。
63	動物愛護計画のより具体的な施策を推進する。継続的推進が大事。「愛護管理推進計画」について課長からの話が時間の関係で短すぎた。 改定の時期はいつ頃か広く意見を聞く企画をつくってもらいたい、ホームページ上だけでは広い意見にならない。
64	1.犬の飼養方法と環境を調べる 2.猫の生活形態と行動範囲 3.猫の種類による飼い方 4.犬又は猫の最低限の病気予防 5.犬、猫に接したことのない場合の対処
65	県がこのようなシンポジウムを開催し啓発活動をすることによって少しずつその意義が伝わっていくと思います。 特別な関心がなかった私でも心を動かされました。 難しい言葉よりも動物の写真、映像を直に目にするほうが心に響くと思います。
66	ブリーダー対策
67	動物愛護とはなんぞやということをわかりやすくかみくだいて示していただくことを期待しています。

68	<p>動物取扱業者の繁殖施設への定期的な巡回指導。それも抜き打ちで。虐待がないかあれば罰則をきびしく適用する。悪徳繁殖業者の存在を根絶してほしい。</p>
69	<p>大人になってから命の大切をいろいろと教えても効果は薄いと思います。自我が備えた子供のころからもっと自然を大切にしたり、ペットだけでなく自然の中で生きる動植物の命の大切さを教える必要があります。そうすればむやみに友達をいじめたり殺したりはしなくなると思います。</p> <p>今回の原発の事故はまさに今後の教訓として人間も地球環境の中で生きる1つの生物であるという認識を子供に教育して行ってほしいと思います。</p> <p>もっと人間の弱さを教えてほしいと思います。異常気象もそうですが人間のエゴで自然には落ちていることがわかると思います。学校教育、家庭教育から自然にやさしい子供を育ててほしいと願っています。</p>
70	<p>処分されてしまう動物達がなくなるよう保護施設等が充実される事を望みます。</p>